

公共事業事前評価調査(平成29年度予算要望)

所管課: 海岸防災課

担当班: 災害砂防班

事業名	うるま市喜仲地区急傾斜地崩壊対策事業		事業区分	自然災害防止事業費	事業主体	沖縄県
事業箇所	うるま市喜仲地内					
事業の諸元	急傾斜地崩壊危険区域 A≒1.0ha 現場吹付法砕工(F300)A=4,665m ² 、 グラウンドアンカー工(D19、L=7.5m) 385本					
事業の概要	<p>当該地区は、うるま市具志川高校の南側、喜仲4丁目及び字豊原の住宅地に位置する南西向きの斜面で、がけ高約6.6～23.3m、平均勾配33度の急傾斜地である。保全対象はがけの上下の人家6戸となっており、崖下には農地も広がっている。</p> <p>また、平成26年7月に指定された、土砂災害危険区域(地滑り・宮里地区)の一部であり、区域内の一部は平成26年11月に地すべり防止区域(豊原地区)に指定され今年度から地すべり防止対策事業を行っている。</p>					
事業の必要性・効果等	<p>< 必要性 > 当該地区は、平成26年7月の台風8号及び梅雨前線に伴う豪雨により一部斜面が崩壊し、斜面上部の住宅の土間コンクリート下の土砂流出やコンクリート塀にひび割れが生じる等、斜面崩壊の兆候が確認されており、事業の実施により、周辺住民の生命・財産を保護が図られる。</p> <p>< 効果等 > 斜面上部4戸、斜面下部2戸の住民の生命・財産を守ることができる。</p>					
事業期間	事業採択	平成 29年度	完了(予定)	平成 31年度		
全体事業費	2.0 (億円)	補助・単独の別	単独	補助率	-	
費用対効果	B / C = 1.1	総便益: B 2.2 (億円)	総費用: C 2.0 (億円)	基準年	平成 27年度	
		被害軽減便益 2.2億円	事業費 2.0億円			
事業着手の熟度・上位計画との整合性	<p>沖縄21世紀ビジョン基本計画において、「2 心豊かで、安全・安心に暮らせる島を目指して」の中で「(4) 社会リスクセーフティネットの確立」として、土砂災害の防災対策への取り組みが位置づけられている。</p> <p>沖縄21世紀ビジョン実施計画において、「災害に強い県土づくりと防災体制の強化」として「土砂災害対策 急傾斜地崩壊対策事業」が位置づけられている。</p>					
環境への配慮	コンクリート法砕内に植生を行うなど、緑化工法を採用する予定。					
関係する地方公共団体等の意見	平成26年9月に喜仲、高江洲、豊原自治会長が連名でうるま市長に斜面对策の要望が提出されており、その後、うるま市から県への要望もある。					
概要図(位置図)						